

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
戸田 洋子			
水3			
添付ファイル			

科目の概要	疾病治療において、栄養食事は欠かすことのできない重要なものである。 この授業では、種々の疾患に適した食事療法（治療食）について講義する。
授業の内容	<p>第1回 一般食、介護食 内容：一般食、介護食について解説する 事前・事後学習：介護食の必要な人の状態を調べておくこと</p> <p>第2回 糖尿病の治療食 内容：糖尿病の治療食について解説する 事前・事後学習：糖尿病の病態を調べておくこと</p> <p>第3回 脂質異常症、肥満、痛風の治療食 内容：脂質異常症、肥満、痛風の治療食について解説する 事前・事後学習：脂質異常症、肥満、痛風を調べておくこと</p> <p>第4回 高血圧、心疾患、脳卒中、COPDの治療食 内容：高血圧、心疾患、脳卒中、COPDの治療食について解説する 事前・事後学習：高血圧、心疾患、脳卒中、COPDの病態を調べておくこと</p> <p>第5回 肝炎（肝硬変、脂肪肝）、膵炎、胆石症の治療食 内容：肝炎（肝硬変、脂肪肝）、膵炎、胆石症の治療食について解説する 事前・事後学習：肝炎（肝硬変、脂肪肝）、膵炎、胆石症の病態を調べておくこと</p> <p>第6回 腎疾患（CKD、ネフローゼ、腎不全、透析）の治療食 内容：腎疾患（CKD、ネフローゼ、腎不全、透析）の治療食について解説する 事前・事後学習：腎疾患（CKD、ネフローゼ、腎不全、透析）の病態を調べておくこと</p> <p>第7回 先天性代謝異常、（フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、糖原病など）の治療食 内容：先天性代謝異常、（フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、糖原病など）の治療食について解説する 事前・事後学習：先天性代謝異常、（フェニルケトン尿症、メープルシロップ尿症、糖原病など）の病態を調べておくこと</p> <p>第8回 骨粗鬆症、がん、褥瘡、貧血、食物アレルギーの治療食 内容：骨粗鬆症、がん、褥瘡、貧血、食物アレルギーの治療食について解説する 事前・事後学習：骨粗鬆症、がん、褥瘡、貧血、食物アレルギーの病態を調べておくこと</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	種々の疾患を持つ患者の食事について学ぶことで、各疾患において、その食事が適不適であるか判断できるようになる。
授業の方法	<p>【授業形態】 テキストと資料を用いた講義</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 小グループで意見を出しあうグループ討議を行う。</p> <p>【ICTを利用した双方向授業】 可能な範囲でICTを利用した授業にする。</p> <p>【その他特記事項】 食事への関心を深める問いかけをする。</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 レポート、筆記試験、平常点</p> <p>【割合】 レポート（20%）、定期試験（60%）、平常点（20%）</p>
教科書・テキスト	「四訂 臨床栄養管理」 渡邊早苗 他、/ 建帛社
参考書	必要時に紹介する
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	日常的に健康、疾病に対する食事療法の情報に注目しておく。
履修上の留意事項	解剖生理学・病態生理学・生化学を理解し、「食」に興味を持ち、自分の健康に常に関心を持って履修するとよい。
オフィスアワー	授業前後に積極的に質問するとよい。
課題に対するフィードバックの方法	レポートについては、次回の授業で説明したり、コメントを記入して、理解を深める指導をする。

実務経験	管理栄養士
その他	健康に留意し、積極的に授業に参加すること。